



高輪だより

令和元年度 11月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

「運動会を終えて」

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

台風19号が、各地で甚大な被害をもたらしました。被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。映像などで子どもたちも触れることがあると思います。そんなときに被災された方々が大変な状況で辛い気持ちの中、前を向いて進んでいること、救助のために頑張ってくださいている方々のこと、防災についてなど親子で話すことが大切だと思います。思いやりの心を育み、安全に対する意識を高めていきましょう。

そしてスポーツの秋。ラグビーワールドカップ、バレーボールワールドカップでの日本人選手の活躍は目覚しく、その感動は日本に元気を与えてくれました。各家庭でも試合を楽しまれていることが子どもたちからの言葉から感じ取れました。

幼稚園は運動会を開催しました。子どもたちが一生懸命に頑張っている姿、成長した姿に大きく感動しました。「わくわく、ぽかぽか 会場中みんな笑顔」のすばらしい運動会になりました。

年長児は、競技や表現での協同的な取組や係や司会での活躍に成長の姿を見ることができ、年少、年中児があこがれる姿となりました。お家の方のご感想も「保育参加した日にパラバルーンの最初の取組を見ていた。完成までたくさん練習したのだなと思った」「年少の頃は自分の子と他の子と比べたりしていたが、今年の運動会では自分の子や他の子の個性をそのまま受け入れながら見ることができ、親として自分が成長した気がした」「子どもたち皆が成長した姿に涙が止まらなかった」など学級としての大きな成長を感じてくださった感想がほとんどでした。

年中児は、普段の遊びの中で担任たちが「しかけ」を工夫し、海賊からの手紙やグッズや宝など、空想を膨らませ遊びを楽しんだことで、意欲的に表現、競技に取組む姿となりました。親子競技では、子どもたちが隠れてお家の方が探すという楽しさに観客も笑顔になりました。

年少児は、実際にやってみて「運動会」を実感しました。練習は、本人たちにとって自由な遊びでした。本番でお家の方と一緒にこの上ないうれしそうな表情で踊る姿に3歳児らしさを感じました。運動会后、「今日も運動会やろう！」と言いながら遊びの中でかけっこをしたり、大きな声で「♪にんげんていいな」を熱唱しながらダンスを楽しんだりしています。

「友達と一緒にできてうれしかった」「体を動かすことが楽しい」という気持ちは来年のオリンピックを楽しむことにつながっていくことでしょう。ご協力をいただきました保護者の皆様、運動会で応援してくださいました皆様、ありがとうございました。

年長すみれ組
大成功！達成感をもって退場！



年中うめ・もも組
海賊の宝の箱にかくれんぼ
見つけてもらって大喜び！



年少うさぎ組
おうちの人と幸せなダンスの時間！

